

知りたいこと

望むこと

9月定例会で行われた一般質問です。
 くわしくは、図書館や議会事務局に
 議事録があります。
 ホームページでもアクセスできます。
<http://www.town.tateyama.toyama.jp/>

布橋灌頂会(9月17日)



佐藤 康弘 議員



防災対策は

議員 ハザードマップの作成が急がれるが。

平成19年度作成を目指す

町長 今年度公表される富山県管理河川の浸水想定区域図に合わせ、立山町においても、平成19年度全域の洪水ハザードマップの作成を目指す。県は平成22年度までに土砂災害警戒区域指定事業に取り組んでいる。そこで町管内で指定される地域が明らかになれば、改めてハザードマップを作成する予定である。

携帯電話不感地帯の解消を

議員 町内にまだ携帯電話の不感地帯がある。異常気象が続く中、一日も早い解消を。

早急に整備計画を

町長 滑川中新川広域情報事務組合で整備した光ファイバーケーブル網があるので、CATV回線を活用した方法で整備できないか協議

硬質廃プラ燃焼実験は

議員 広域事務組合から施設運営及び連絡体制についての回答を受け、今後の町の対応策は。

町民の理解が不可欠

町長 9月中には排出ガスのデータが公表されるので、その結果を待つて対応したい。なお、現在行っている35ヶ所でのダイオキシン調査は、今後も継続するよう組合に要望していく。



クリーンセンター(末三賀)



子ども議会を

議員 子ども議会を開催しては。

形式にこだわらない

町長 「子ども議会」という形式にこだわらずに、子どもと町長の懇談会など、子どもたちが日頃考えている要望や疑問、課題や意見等を自由に発言できる体制作りが必要である。現場の先生方の意見を参考にしながら検討したい。

配食サービスの実施を

議員 一人暮らしや高齢者世帯に対する配食サービスの実施を。

今後検討する

健康福祉課長 要支援・要介護の恐れのある高齢者には「特定高齢者」として低栄養状態を予防し、栄養改善を行う事業を今年度から計画している。対象となる方には栄養改善と安否確認を兼ねた配食サービスも考えている。



次の世代に立山砂防を

議員 立山砂防100周年を迎え、この事業の意義をどのように次の世代に伝えてゆくのか。

重要性を児童に

町長 100年の永きにわたる、砂防堰堤等の施設整備が営々と進められたことで、今の富山平野の安全が確保されている。児童参加による「少年立山探検隊」、父親の家庭教育参加事業として「立山カルデラ砂防体験学習」が開催されており、国土交通省のご協力をいただきながら、立山砂防の重要性を伝えていきたい。

朝ご飯運動は

議員 「早寝、早起き、朝ご飯運動」への取り組みは。生活習慣の基本。教育課長 よく食べ、よく動

どうする夏休み

議員 夏期休業日の縮減への取り組みは。

富山市を参考に

教育長 児童・生徒の学力低下が懸念されており、今年実施をした富山市の成果や課題をふまえて、19年度以降の長期休業日縮減の方向性を見定めたい。



朝食をしっかり食べよう

町田 信子 議員

外国人客にも便宜を

議員 立山カルデラ博物館を訪れる外国人観光客が分かりやすく観賞できるような工夫を。

対応策を県に要望

助役 博物館からアルペンルートへの外国人観光客の状況や本県



立山カルデラ砂防博物館(千寿ヶ原)